

千葉経大新聞

第60号行
千葉経済大学
千葉市稲毛区轟町
3-59-5 (〒263-0021)
TEL.043(253)9111(代)
FAX.043(254)6600
http://www.cku.ac.jp

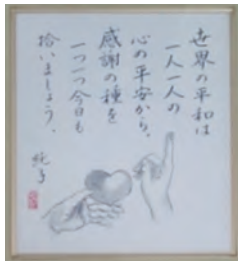
令和の時代を迎えて 新1万円札の顔となる 渋沢栄一と学園創立者佐久間惣治郎

理事長・学長 佐久間 勝彦



徳に合ったものでなければならぬと、企業経営者に「論語と算盤」の大切さを説いた。私たちの学園は86年前に創立したが、建学の精神は「片手に論語 片手に算盤」である。渋沢の経営理念を教育の

令和の時代を迎えようとする4月9日、学園に喜ばしいニュースが飛び込んできた。1万円札の肖像が2024年から渋沢栄一に変わるといふ発表である。渋沢は「日本資本主義の父」と称され、いかなるビジネス活動も倫理・道



渋沢栄一の孫娘の
鮫島純子さんからの色紙



学園創立者佐久間惣治郎(左)と渋沢栄一(右)

世界に据え、「論語」に象徴される「人としての倫理・道徳・品性」と、「算盤」に象徴される「生活の糧となる専門的な技術・知識」を培うことを謳っての開学である。千葉経済大学のピロティ

には、渋沢栄一の孫娘で96歳でご活躍中の鮫島純子さんから贈られた色紙「世界の平和は一人一人の心の平安から。感謝の種を一つ一つ今日も拾いましょう」が掲げられている。佐久間惣治郎は渋沢栄一と、どこでどのような接点をもったのだろうか。言葉を交わす機会があったのか、著書を紹介する機会であったのか。その出会いについては書き残されていないので、気にかかってならない。

ところで、その2人が一昨年の秋、「顔」を合わせるようになった。胸像製作会社が、貴重な渋沢の胸像を学園理事長室の惣治郎の胸像のもとにお持ちくださったのだ。「論語と算盤」の精神で結ばれた2人の、年月を経ての対面には感激した。

稲毛区との相互連携協定式

稲毛区役所と千葉経済大学 および千葉経済大学短期大学部は、お互いの持つ資源を有効活用し、地域の活性化と区民サービスの向上に取り組む

今年6月、大学・短期大学部に地域連携活動の企画・立案を行う「地域連携室」を設置したことから、地域連携を組織的に進める機会として協定の提案を稲毛区側にさせて



佐久間学長(左)と宮尾区長(右)

べく、ボランティア活動、防災対策、バラスポーツの振興、人材育成など各方面で連携を図ることで合意し、7月2日(火)に本学にて相互連携協定を締結しました。このニュースは7月5日(金)の読売新聞や千葉日報にも紹介されました。相互連携協定を締結するにあたり、本学園は昨年9月ごろから準備を進めてきました。今年6月、大学・短期大学部に地域連携活動の企画・立案を行う「地域連携室」を設置したことから、地域連携を組織的に進める機会として協定の提案を稲毛区側にさせていただきました。このニュースは7月5日(金)の読売新聞や千葉日報にも紹介されました。相互連携協定を締結するにあたり、本学園は昨年9月ごろから準備を進めてきました。

「経営」の語源 — 經之營之 —

経済学部長 山浦 裕幸



先日、『次世代管理会計の礎石』という論文集を読んだ。その「はしがき」には、このタイトルを付けた理由の一つとして、「経営」という言葉の語源を意識していることが書かれていた。(ちなみに管理会計は経営のための会計のことである。)

「経営」の語源が、「経世済民」もしくは「経国済民」であることは比較的広く知られている。これに対し、「経営」の語源はあまり知られていない。

「経」の語源は「経世済民」の「経」に由来し、「世話を焼く」という意味で使われるようになった。また、「營」の語源は「營生」の「營」に由来し、「生活の糧を稼ぐ」という意味で使われるようになった。

「経世済民」とは、世を治め民を済ませることを意味し、「経国済民」は、国を治め民を済ませることを意味する。このように「経営」とは、世や国を治め民を済ませることを意味する。

「経」の語源は「経世済民」の「経」に由来し、「世話を焼く」という意味で使われるようになった。また、「營」の語源は「營生」の「營」に由来し、「生活の糧を稼ぐ」という意味で使われるようになった。

「経世済民」とは、世を治め民を済ませることを意味し、「経国済民」は、国を治め民を済ませることを意味する。このように「経営」とは、世や国を治め民を済ませることを意味する。

「経世済民」とは、世を治め民を済ませることを意味し、「経国済民」は、国を治め民を済ませることを意味する。このように「経営」とは、世や国を治め民を済ませることを意味する。

「経世済民」とは、世を治め民を済ませることを意味し、「経国済民」は、国を治め民を済ませることを意味する。このように「経営」とは、世や国を治め民を済ませることを意味する。

千葉経済学園ボランティアセンター紹介



平成30年12月に「千葉経済学園ボランティアセンター」が開設され、1年を迎えようとしています。学園(千葉経済大学、同短期大学部、同附属高等学校)の教職員7人がセンターのスタッフとして委嘱され、運営しています。これまで、大学、短期大学、附属高校のそれぞれがボ

また、上記の目標を達成しつつ、ボランティアに参加する学生・生徒たちに、「ボランティア」とは何かを身を以って体験させ、ボランティア活動の楽しさを伝えるとともに、ボランティア活動を一緒に進めることにも努めていきます。このことを繰り返しながら、学生・生徒たちが自然と自発的に動ける力を身に付けさせ、学生の自立や成長に繋げていけるよう教育を重ねて参ります。ボランティア発足後、大学生と附属

実施月	活動内容	区分	参加者数
4月~7月	東京オリパラボランティア(面接試験)	B	16
6月	大賀ハスマつり(千葉公園) 運営サポート及びボッチャ無料体験、オリパラ紹介	A・B	13
7月	稲毛せんげん通りまつり 通行整理、自転車の誘導、会場美化等	A	60
8月	千葉の親子三代夏祭り 会場設営、受付、踊り・パレード準備、ごみ分別の呼びかけ、撤収作業等	A	93
9月	稲毛あかり祭り準備(灯ろうづくり講習会)	A	13
9月	稲毛あかり祭り準備(小学校での灯ろうづくり指導)	A	8
9月	レッドブル・エアレース 来場者へのパンフレット配付 エコステーションでのごみ回収・分別等	C	18

※ 区分(A…地域貢献、B…オリパラ関係、C…国際イベント)
※ 参加者数には、ボランティアセンターの教職員を含む

父母の会会報

父母の会の活動紹介

父母の会会長 長谷川 美治

父母の会では、昨年度よりオープンキャンパスのお手伝いをしています。お話しをお聞きしたいと思いをしています。

数年前、私達も受験生の親として本学のオープンキャンパスに参加しました。子供はオープンキャンパス部の学生さんから学校生活などのお話を聞いて、それを参考にしたいのですが、親としては、保護者の方から「親視点」の

その事から、本学を選んだ理由、実際に通わせてどうなのかなどを在学生の親として、お話しさせて頂いており

保護者面談を実施しました

父母の会顧問 内山 隆

4月2日の入学式後の大学紹介では多数のご父母の皆様をお迎えすることができ、学長からは、「改めて気が引き締まる思いである」旨の挨拶がありました。私自身も大いに共感したところです。父母の会活動へのご支援のほど今後ともよろしくお願

す。以下、令和元年5月18日(土)と10月3日(木)に開催された個別面談の概要をお知らせします。

5月18日の個別面談会は、同日開催の第1回理事会、定期総会に先立って実施されましたが、父母の方と学生が所属するゼミ担当教員との情報交換の場になりました。また、10月3日は、木曜日でしたが前期試験の結果を踏まえて、成績表の見方や単位取得の状況、3年次への進級要件などが説明されました。勉学状況の他にクラブ活動、就職活動、その他、少人数教育の一環として学生生活全般についても話し合われています。日ごろ大学に来られる機会の少ないご父母の方々の親睦が深められる場になっています。次回ぜひご参加ください。



さない為の対策などをお話しすると、保護者の皆様からも色々ご質問頂きます。子供に合った大学を選びたいと迷われている保護者の皆様に、少しでも参考にして頂ければと、この活動をしております。

創立30周年記念事業

3×3 (スリーバイスリー) 多目的コート

大学の創立30周年、短期大の創立50周年記念事業として、今年の4月に学生ホールの近くに「3×3 (スリーバイスリー)・多目的コート」が新設されました。この「3×3・多目的コート」

ト」は、本学父母の会と短期大後援会からの寄付によって造られたもので、バスケットボールをはじめバレーボール、フリスビー、バドミントンなどの軽スポーツを楽しんで気分をリフレッシュさせたり、屋根の付いたベンチで学生同士や学生と教職員が談笑したりと、キャンパスライフをより一層豊かにしてくれるスペースとなっています。来年の東京オリンピックでは、3人制バスケットボールが正式競技種目として追加採用されましたので、オリンピック・レガシーとしても、長く記憶にとどめられることでしょう。



長谷川会長(右)

オリジナル就職支援プログラム

『夏季就活塾』

夏季休暇初日の8月8日(木)・9日(金)、夏期就活塾を実施しました。

これから就職活動を始める3年生を中心に延べ60名の学生が参加し、やりたい仕事を考えるための自己分析や、業界・企業研究の方法、さらに、履歴書・選考試験にむけたグループディスカッションやコミュニケーションのポイントを様々なワークを通して実践的に学びました。

履歴書や面接試験の対策となるコミュニケーション

力対策講座では、正しく情報交換するために必要なバール(言語的)コミュニケーションとノンバーバル(非言語)コミュニケーションについて学びました。要点をわかりやすく伝えるために、6W2日を意識して電話メモを書くワークや、視線を合わせず無表情(非言語コミュニケーションを使わない)で話を聞く体験を通して、二つのコミュニケーションの大切さを考えました。

参加した学生からは、「コミュニケーションの大切さ



コミュニケーションについて新しいことを知ることができた。「グループディスカッションの練習では、個別



にフィードバックを受けられて良かった。」という感想がありました。

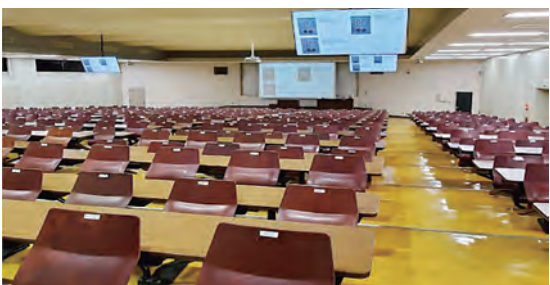
施設改修について

令和元年を迎えた今年5月に2号館1階101講義室の視聴覚機器のリニューアルを行い、8月には同館2階201と202講義室の椅子を更新しました。

昨年度から今年度に掛けて学内外の施設設備等の更新工事を実施しました。

小間子グラウンドで活動する硬式野球部は、部員が90名を超え、グラウンド内にある既設部室の更衣室は手狭となり、シャワーやトイレ設備が不足し支障をきたしていました。これらの課題を解決するため、平成30年12月に部室を新設しました。

新部室は鉄骨造平屋建てで、スポーツロッカー48台を配置した更衣室とシャワールーム5室、トイレ、会議室を備えています。



2号館101視聴覚機器更新



2号館201・202椅子更新



小間子グラウンド硬式野球部部室新設



総合体育館空調機器設置

同窓会会報

平成31年度(令和元年度) 同窓会定期総会 懇親パーティー開催報告

令和元年7月27日(土)に、今年度の同窓会定期総会および懇親パーティーが学生ホールにて開催されました。

定期総会・懇親パーティーには、台風による悪天候も予想される中、多数の同窓生にご参加いただきました。

総会では鹿島会長の挨拶に続き、各議案を出席者に諮り、各議案とも異議なく承認・議決されて総会を終えることができ、懇親パーティーへと進行了りました。

懇親パーティーには同窓生のほか、学長をはじめ事務局長や多数の現職の先生方にご参加をいただき、和気あいあいとした雰囲気の中、交流を深めることができました。



同窓会では、来年度も更に多くの同窓生に総会・懇親パーティーに参加いただきたいと考えております。開催日は毎年7月の最終土曜日に固定しており、1カ月前ごろに案内の便りをお送りしておりますので、ぜひ出席のご返事をしていただきますよう、同窓会一同お待ちしております。

学生さんたちから活動状況の報告や今後の目標などが話され、その際には慣れない人前での挨拶にとまどう学生の姿も垣間見られました。例年このパーティーは着席ビュッフェスタイルで行われており、食べきれないほどのバラエティーに富んだ料理を食べながら各テーブルでは、学生時代の思い出話や近況の報告などをしたりと会話の途絶えない楽しいひとときを過ごしている様子が見受けられました。



卒業生紹介

平成11年度経済学科卒業

松原 大

私が大学に入学した頃は開学からある程度時間が経ち、施設や体制がある程度整いつつあった時期だったと思います。

少人数ではありませんでしたが、その分小回りが利き、新しいクラブを立ち上げる学生も多く、活気に満ちあふれていま

私は学友会執行部・大学祭実行委員会に所属し、クラブ

活動など学生生活のサポートや大学祭の広報活動を通じて大学の知名度を上げる活動をしていました。

大学の授業は高校と違って分野が幅広く先生方も個性的で、出会った友人も日本全国



から来ており、大学生活は周りに常に刺激を受け、多くのことに興味・関心を持ちました。

その影響か、私は大学卒業後に公務員や通信、IT、金融などの様々な業種で勤務し、海外での放浪生活

を経て最終的には看護学校へ入学。現在は看護師として病院で勤務しています。

当時と違って今はインターネットやSNS 社会との交流、SNS



部活動報告 茶道部

こんにちは、茶道部です。

7月に学生ホールにて開催した「七夕茶会」と、8月に特別養護老人ホームとどろき一倫荘にて開催した「一倫荘茶会」の活動を報告いたします。

7月4日、七夕茶会を学生ホール1階にて催しました。

日頃お世話になっている教職員の方やご友人など様々な方々にお越しいただき、お菓子・お抹茶を愉しんで頂くとともに、短冊に願いを込めるなど七夕を感じていただきました。

8月9日、大学の隣にあるとどろき一倫荘にて茶道体験会を催しました。今年は、参



このほか、月に2回裏千家の先生をお呼びして日頃のお稽古や自主練習、オープンキャンパスでのお菓子・お抹茶の提供など活動しています。次のお茶会は、大学祭にて行います。ご友人お誘いあわせの上、ぜひお越しください。茶道部一同お待ちしております。



新任教員からのメッセージ



五十川 陽

4月から着任いたしました五十川 陽と申します。主にファイナンス論(コーポレートファイナンス論)、簿記答

練などを担当しております。

私たちの生活には企業の存在が必要不可欠です。企業は商品や工場などに投資をし、利益を獲得することを目的としています。企業活動を行うためには多くの資金が必要となります。そのため、どこから資金を調達し、どこに投資をするかを決めることが重要です。ファイナンス論では、

このような企業の財務活動の意思決定について学びます。簿記答練では、主に日商簿記検定の合格を目標に問題演習を行います。日商簿記検定は就職活動で重要視されている資格の1つです。最近では資格が難しくなっていますが、合格できない試験ではありません。ぜひ、在学中に取得できるように一緒に頑張りましょう。そして、税理士や会計士など次のステップにも挑戦してください。大学に進学した理由はそれぞれありますが、

平成31年度(令和元年度)「オープンアカデミー」

毎年度好評をいただいています。本学主催の公開講座「オープンアカデミー」を今年度も開催いたします。今年度のプログラムには、令和2年3月に定年退職される本学教員の退職記念講演会も含まれています。皆さんお誘い合わせの上、お越しいただけますようよろしくお願いいたします。

第1回 落語	
第1回	令和元年11月2日(土) 10:30~12:00 テーマ 「千葉と落語と私」 講師 三遊亭美るく(千葉県出身女流落語家、落語協会所属)
第2回 千葉市の魅力と観光	
第2回	令和元年11月9日(土) 10:30~12:00 テーマ 「千葉市の海・緑・まちの魅力を楽しむ ~体験型観光・ムスリム対応 e.t.c~」 講師 櫻井 篤(千葉市経済部観光プロモーション課課長)
第3回~第6回(4回シリーズ) 他者との関係性における生きづらさの社会学	
第3回	令和元年11月16日(土) 10:30~12:00 テーマ 「感情を使って働くことの生きづらさを考える」 講師 中倉智徳(千葉商科大学人間社会学部専任講師) コメンテーター 佐藤典子(本学准教授)「看護職の過労について」
第4回	令和元年11月23日(土) 10:30~12:00 テーマ 社会的孤立を考える 講師 鳥越信吾(本学非常勤講師、中京大学特任研究員) コメンテーター 山田史比古(朝日新聞東京本社文化くらし報道部記者)
第5回	令和元年12月7日(土) 10:30~12:00 テーマ ①「当事者経験の物語的理解に向けてⅠ：自傷行為を生きる」 ②「当事者経験の物語的理解に向けてⅡ：摂食障害を生きる」 講師 ①担当…澤田唯人(大妻女子大学共生社会文化研究所特別研究員、慶應義塾大学他兼任講師) ②担当…宮下阿子(法政大学社会学部他兼任講師)
第6回	令和元年12月14日(土) 10:30~12:00 テーマ 「リュック・ボルトンスキー『胎児の条件』翻訳出版一周年記念講座」 ①アメリカ大統領選における争点としての中絶とキリスト教における中絶禁止の歴史 ②「胎児と母親の関係性から考える中絶の経験」 講師 ①担当…佐藤典子(本学准教授) ②担当…小田切祐詞(神奈川工科大学講師)
第7回~第8回 千葉経済大学教授 退職記念講演会	
第7回	令和2年1月11日(土) 10:30~12:00 テーマ 「マンデヴィルとスミスー商業社会の原像ー」 講師 鈴木信雄(本学教授)
第8回	令和2年1月18日(土) 10:30~12:00 テーマ 「上達過程論と指導者像」 講師 山岡昭吉(本学教授)

【共催】ちば産学官連携プラットフォーム

お申込み・お問い合わせ

千葉経済大学地域総合研究所
〒263-0021 千葉市稲毛区轟町3-59-5
TEL:043-253-9115 FAX:043-253-9901
E-mail: gakumu-15@cku.ac.jp

- 開催日 11月9日(土)・10日(日) 大学祭・とどろき祭両日
- 開催場所 総合図書館前(雨天の場合は2階連絡通路)
- 問い合わせ先 千葉経済大学総合図書館
TEL 043 (253) 9941

今年度も11月9日(土)・10日(日)に千葉経済大学祭の開催が決定致しました。今年の大学祭のテーマは「ZERO」です。今年度の大学祭は、元号が平成から令和になり初の大学祭となります。そのため、ゼロから新しい時代の大学祭を作り上げようという想いから、このテーマに決定致しました。昨年度に引き続き、今年度もゼミの口演・展示にも力を入れており、先生方に指導を頂き

開催のお知らせ 第32回 大学祭 令和元年 11月9日・10日

大学祭実行委員会 委員長
2年 山田祐輔

ながら、大学祭での口演・展示に向けて準備を進めております。そのほかにも、トークショーや音楽LIVE、多数の模擬店や文化系クラブによる展示など様々な企画を予定しております。このように、昨年ご来場頂いた方や、今年初めての方向にも楽しんで参加頂けることは、もちろん、老若男女すべてのお客様に2日間お



楽しみ頂けるような大学祭にしてと学生一丸となって準備して行っております。当日は精一杯おもてなしできるような、頑張りますので是非ご来場下さい。皆様のお越しを学生一同、心よりお待ちしております。



総合図書館では平成26年度より毎年大学祭・とどろき祭で「古本市」を開催しています。この催しは本のリサイクルを目的に始めたもので、図書館で除籍となった本や皆さんから提供していただいた本を安価で販売し、売上金を全額被災地の図書館に寄付しています。保存期間の過ぎた雑誌をすべて無償で配布していることもあり、地域の皆さんにも毎年大好評のイベントとなっております。今年も左記の通り開催しますので是非ご来場ください。



図書館からのお知らせ
大学祭・とどろき祭で
毎年「古本市」を
開催しています。

◆教員	
1、平成31年3月31日付	高屋 和彦 教授(名誉教授の称号授与)
2、平成31年4月1日付	五十川 陽 専任講師
◆職員	
1、平成30年10月1日付	小野 正芳 教授
2、平成30年11月30日付	岡田奈津子 大学・短期大学部事務局大学学務課(嘱託)
3、平成30年12月1日付	京相 吉孝 大学・短期大学部事務局主監
4、平成31年3月31日付	久間木有希子(短大学務課)
5、平成31年4月1日付	鈴木 康浩 大学・短期大学部事務局庶務課(嘱託) 鈴木 伸子 大学・短期大学部事務局入試広報センター(嘱託)
6、令和元年6月1日付	山田 涼子 大学・短期大学部事務局短大学務課
7、令和元年8月19日付	奥 三恵 大学総合図書館図書課課長補佐 【地域連携室の設置に伴う兼務発令】 荻野 正昭 大学・短期大学部事務局庶務課長兼地域連携室長兼情報企画戦略室参事 魚野 力 大学・短期大学部事務局入試広報センター室長補佐兼地域連携室室長補佐 秋吉 正裕 大学・短期大学部事務局短大学務課係長兼情報企画戦略室係長兼地域連携室係長 浅野 雅明 大学・短期大学部事務局大学学務課主任兼地域連携室主任 齊藤 大介 大学・短期大学部事務局キャリアセンター兼地域連携室
8、令和元年8月31日付	佐藤 洋平 大学・短期大学部事務局地域連携室兼情報企画戦略室兼千葉経済学園ボランティアセンター委員
9、令和元年9月1日付	岡田奈津子 大学・短期大学部事務局大学学務課(嘱託)
10、令和元年9月17日付	玉田 聡子 大学・短期大学部事務局キャリアセンター参与(嘱託)
【配置換え】	
石川 博文 大学・短期大学部事務局キャリアセンター係長	渡邊 直子 大学総合図書館図書課